

令和6年度各課等におけるステークホルダーからの意見（要望）等とその取組計画等調査

★「ステークホルダー」とは、企業等の経営行動などに対して直接・間接的に利害が生じる関係者(利害関係者)のことをいう。  
 具体的には、学生、保護者、同窓生（会）、役員・教職員、校友会、患者様、自治体等、就職企業先、業者等、地域市民一般、その他関係者（海外）など。

令和8年3月31日

整理番号	課名等	事業等	意見聴取対象者	意見聴取の方法	実施年月日	大学運営に有効活用できると思われるニーズ（要望）等	各課等における取組状況及び取組計画	取組計画等への対応状況
1	広報室	佐賀大学広報誌「かちがらす」第50号読者アンケート (広報誌についてご意見・感想)	佐賀大学広報誌「かちがらす」第50号読者アンケート回答者	アンケート (199名)	令和6年3月1日～ 令和6年9月30日	○取り上げてほしいテーマ ・カッチーくんについて ・サークルの紹介 ・活躍する卒業生について ・就職に関する情報  ○意見・感想 ・今後も大学情報発信に期待している ・先輩からのメッセージに女性を入れてほしい ・紙ベースの発信を続けてほしい	・いただいた意見を精査し、可能なものについては広報誌、HPへ反映するよう検討します。 ・学生の活動やニュースなどをSNSや佐賀大学のニュースサイト「佐賀大Press」で発信し、幅広く広報していきます。 ・リクエストの多いテーマは、今後積極的に取り扱います。 ・今後「先輩からのメッセージ」では、男女比のバランスも考慮します。	・「活躍する卒業生」を取り上げてほしいというご意見に対しては、毎月、「社会で輝く先輩からのメッセージ」コーナーにて紹介しています。 ・「社会で輝く先輩からのメッセージ」に女性を入れてほしいというご意見に対し、第52号及び第53号では男女比を配慮して取材しました。 ・紙ベースの発信は継続しつつ、電子版を本学公式ウェブサイトにて公開し、広くご覧いただけるようにしています。
2	広報室	佐賀大学広報誌「かちがらす」第51号読者アンケート (広報誌についてご意見・感想)	佐賀大学広報誌「かちがらす」第51号読者アンケート回答者	アンケート (144名)	令和6年10月1日～ 令和7年2月10日	○取り上げてほしいテーマ ・学生のボランティア活動 ・佐大生の活躍  ○意見・感想 ・先輩からのメッセージは継続してほしい ・社会に貢献する佐賀大学の研究成果が知りたい ・佐賀大学の今を知ることができる興味深い広報誌である。	・いただいた意見を精査し、可能なものについては広報誌、HPへ反映するよう検討します。 ・学生の活動やニュースなどをSNSや佐賀大学のニュースサイト「佐賀大Press」で発信し、幅広く広報していきます。 ・リクエストの多いテーマは、今後積極的に取り扱います。 ・今後も「先輩からのメッセージ」は継続する予定です。	・「学生のボランティア活動」について取り上げてほしいというご意見に対し、広報誌第52号では、学生広報スタッフが編集したページ「イキイキ佐大生」において献血推進活動を行っている学生団体の佐賀県支部、「佐賀県学生献血推進協議会～ちっち～」会長を務める理工学部の学生を取り扱いました。 ・「佐大生の活躍」を取り上げてほしいというご意見に対し、広報誌第53号では、学生広報スタッフが編集したページ「イキイキ佐大生」において、イラストレーターとして活躍している農学部学生を取り扱いました。
3 ①②	広報室	佐賀大学教職員アンケート	佐賀大学教職員アンケート回答者	アンケート (140名)	令和6年10月7日～ 令和6年10月15日	①広報誌で取り上げて欲しいテーマ ・コスメティックサイエンス学環の特集 ・学生生活に便利な情報 ・SNSの効果的な利用について ・フォトコンテスト ・専用ハッシュタグの定着化 ・カッチーくんのつゆやき ②制作に欲しい広報用グッズ ・新しい名刺デザイン ・大学外観写真素材の配布 ・椅子の背もたれカバー ④制作に欲しいノベルティグッズ ・かっちゃんのアクリルスタンド ・タオル、ハンカチ、ハンドタオル ・Tシャツ、トレーナー ⑤デジタルサイネージの活用法 ・コスメティックサイエンス学環の紹介 ・企業協賛や共同研究の募集 ・生産物販売のPR	①いただいた内容は、誌面の都合上、まだ採用できていませんが、今後のテーマの参考とさせていただきます。特にコスメティックサイエンス学環については、今後の特集記事として扱う予定です。 ②フォトコンテストは学生広報スタッフのSNSで実施しました。専用ハッシュタグは、今後意識して使います。カッチーくんのつゆやきは、情報発信手段の一つとして検討します。 ③大学外観写真は写真撮影を行いましたので、今後公開いたします。名刺デザイン、椅子の背もたれカバーは、新年度に対応予定です。 ④新年度にコスメティックサイエンス学環のCMを制作して放映予定です。また、他のリクエストについても随時対応します。	①「コスメティックサイエンス学環について特集してほしい」というご意見については、広報誌第53号で特集しました。 ②SNSの効果的な利用として、学内施設をカッチーくんが紹介する「カッチーくんの佐大さんぽ」シリーズの投稿を新たに開始し、他、学生の紹介や学内の雰囲気等をショート動画で公開を開始しました。 ③大学外観写真は学内限定でウェブサイトに追加掲載を行っていません。ノベルティグッズは、学内の窓口に置くためのアクリルスタンドを作成し配付しました。また、教職員アンケートの回答者用プレゼントとしてオリジナルのハンドタオルを制作しました。名刺デザインについては、令和7年度に制定したコミュニケーションマークのデザインを新たに作成し、教職員限定ページに掲載しました。 ④部局からのリクエスト等に基づき佐賀中央郵便局のデジタルサイネージで以下のCMを放映しました。 ・公開講座の紹介 ・附属病院 前立腺がん第1段CM 受けよう！前立腺がん検査 夫婦の会話篇 ・附属病院 前立腺がん第2段CM 受けよう！前立腺がん検査 家族の会話篇
4	総務課渉外室	第13回ホームカミングデー	ホームカミングデー参加者 (佐賀大学卒業生、名誉教授)	アンケート (45名)	令和6年10月26日	・各学部の研究内容の展示の場があれば、OB(同窓生)としては嬉しい。 ・学生さんのグローバルな視野を育てるために、海外派遣等を積極的に推進して欲しい。	・産学交流プラザ1階のインフォメーションコーナーでは研究成果の展示や地域・企業等と連携した研究紹介、大学の歴史や学部紹介を行っています。機会あるごとに、それらの広報に取り組みます。 ・また、校友会で実施している学生活動支援事業の海外派遣奨励金の海外派遣奨励金及び国際交流奨励金の異なる充実を図ります。	・産学交流プラザ1階のインフォメーションコーナーでは研究成果の展示や地域・企業等と連携した研究紹介を行っており、今後も引き続き広報に取り組みます。 ・校友会で実施している令和7年度学生活動支援事業の海外派遣奨励金において9件、国際交流奨励金において9件の支援をそれぞれ実施した。
5	教育企画課	授業評価アンケート	授業履修者	アンケート	各学期授業期間終了前～終了後の3週間程度	必修科目であるインターフェースプログラムの選択履修後にイメージと違っており直したという声があった。	1プログラム4科目8単位必須の運用を見直し、1プログラム2科目4単位×2プログラム方式へ変更し、柔軟な再選択や複数プログラムの履修を可能にしたい。	【対応済み】1プログラムが短くなり、ミスマッチによるやり直し不能の状況が解消。複数の視点から学べることで、複眼的・多角的な視点の獲得にもつながった。

整理番号	課名等	事業等	意見聴取対象者	意見聴取の方法	実施年月日	大学運営に有効活用できると思われるニーズ(要望)等	各課等における取組状況及び取組計画	取組計画等への対応状況
6	教育企画課	卒業(修了)予定者を対象とした共通アンケート	卒業(修了)予定者	アンケート	各年度12月~2月末	インターフェースプログラムの履修希望が抽選で通らず、希望しない科目を履修せざるを得ないケースがあった。	新たなインターフェース科目群として「課題解決のためのプロジェクトデザイン」「教育から学ぶインターフェース論」「教育レクレーション支援の探究」プログラムを開講し、学生が自分の興味・関心に応じて幅広い領域を選ぶよう選択肢を拡大した。	【対応済み】抽選倍率が下がり、希望するプログラムに参加しやすくなったことでスマッチが減少した。 また、新プログラム開設により学びの幅が広がった。
7	社会連携課	T S U N A G I プロジェクト	佐賀県庁	佐賀県・佐賀大学連携調整会議等	令和6年9月5日、令和7年2月5日	令和元年より毎年実施している佐賀県・佐賀大学連携調整会議において、本学の取組等の情報共有を行ってきた。 本学の取組の成果が認められ、より強力に佐賀県内の地域課題の解決や県内の産業・学術の振興を図るため、令和4年度より佐賀県による研究支援事業「T S U N A G I プロジェクト」が実施された。 令和6年度は、継続事業が19件、新規事業が6件の計25件が採択されている。そのうち2件が佐賀県からの提案による受託事業で本学において研究を進めている。	・今後も「T S U N A G I プロジェクト」を実施していくために、佐賀県・佐賀大学連携調整会議等で本学の取組について情報共有を継続する。 【県提案による2件の内訳】 ・農学部木村圭准教授による「色落ちノリの色調向上試験」 ・総合分析実験センター児玉准教授による「陶磁器製造業から排出される廃石膏の農業分野での有効利用に関する研究」	令和6年9月5日に第9回、令和7年2月5日に第10回の佐賀県・佐賀大学連携調整会議を実施し、佐賀県から支援いただいているプロジェクトについて、各教員より進捗の報告を行い情報共有を行った。
8	医学部学生課	令和6年度新入生懇親会	学生	アンケート(94名)	令和6年4月16日~令和6年4月24日	○歓迎会実施内容 ・開催場所 ・開催時間 ・飲食内容 ・会費	・いただいた意見を精査し、対応可能なものについては、改善を検討します。 ・会費については前回より金額を低く設定し学生の負担を軽減します。	・会費については学生からの意見を基に、令和7年度からは一般運営経費学務系経費に予算を組んでいただき、学生から徴収しないこととしました。
9	医学部学生課	学生の国際学会旅費	学生・教職員	ご意見	随時	○意見、要望 学生が国際学会に参加し、発表をする場合の旅費等支援を欲している。	・いただいた意見を精査し、「佐賀大学医学部学術国際交流助成事業実施要項」を改正し、令和7年4月1日から実施することで、下記により改善します。 ・国際学会発表の支援は、大学院生のみであったが、学部学生まで支援を拡大することとしました。 ・国際学会発表の支援は、大学院生のみであったが、学部学生まで支援を拡大します。 ・学部学生の留学に対しても、慣例で10万円の助成を行っていましたが、他の公的機関又は民間団体からの助成の有無にかかわらず20万円を上限とした助成を可能としました。 ・ハワイは20万円、台湾は15万円、その他の地域は医学部総務委員会での助成の可否を審議する際に金額も併せて審議することとなりました。	・「佐賀大学医学部学術国際交流助成事業実施要項」を改正し、令和7年4月1日から実施することで、下記の改善を行いました。 ・国際学会発表の支援は、大学院生のみであったが、学部学生まで支援を拡大することとしました。 ・学部学生の留学に対しても、慣例で10万円の助成を行っていましたが、他の公的機関又は民間団体からの助成の有無にかかわらず20万円を上限とした助成を可能としました。 ・ハワイは20万円、台湾は15万円、その他の地域は医学部総務委員会での助成の可否を審議する際に金額も併せて審議することとなりました。
10	医学部医事課(医事)	患者満足度調査	患者様	アンケート	外来 令和7年1月27日(月)~1月31日(金) 入院 令和7年1月27日(月)~2月7日(金)	患者様の視点から見た病院運営の在り方について活用できると思われま。	・アンケート結果については、集計・分析後に病院内会議に報告を行います。 ・意見に対して改善に向けた対応策を検討していきます。 ・結果を各診療科・各部門等に周知するとともに、病院HPにて公開します。	・患者用Wi-Fiの利用環境を外来エリアにも拡充した。 ・接遇向上の取り組みとして、株式会社スタッフライヤーより講師を招へいし、病院職員を対象とした接遇研修を実施した。
11	医学部医事課(訟務)	ご意見箱	患者様及びその関係者様など	ご意見箱	常設	患者様及びその関係者様など外部等の視点から見た病院運営の在り方及び病院サービス向上について活用できると思われま。	ご意見箱のR6意見対応 R6.5月投稿他：学生の構内自転車マナーが悪いので改善してほしい → 自転車マナーについて再三学生課にて指導をしてきましたが、改善されないため、構内通行方法を見直し、患者様の通行が多い箇所について、自転車を押して歩くこととし、その旨の標識を設置しました。	R7年度に入ってから、構内自転車マナーについての苦情の投稿が複数件(R7.7月他)あり、現在、構内自転車ルールの見直し(正門からの自転車通行禁止等)を検討中。

整理番号	課名等	事業等	意見聴取対象者	意見聴取の方法	実施年月日	大学運営に有効活用できると思われるニーズ（要望）等	各課等における取組状況及び取組計画	取組計画等への対応状況
12	海洋エネルギー研究所	見学会・視察	一般見学者、企業、自治体、研究者	アンケート (回答数：271名)	見学会の都度、随時 (アンケート集計期間： 令和6年4月～12月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海洋エネルギーや施設についてSNSでの広報活動に力を入れて欲しい。</li> <li>・水素関連の設備が充実して欲しい。</li> <li>・教育×海洋エネルギーの取り組みを増やして欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSについては要検討。</li> <li>・水素関連の設備について要検討。</li> <li>・海洋エネルギーについて、伊万里市と連携し、市内の小中高校の施設見学や研修等の受入れを計画中。</li> <li>また、佐賀県の進める佐賀エナジーツーリズムの参加施設として、教育旅行や研修旅行を広く受け入れている。佐賀エナジーツーリズムホームページ <a href="https://saga-et.com/ocean/">https://saga-et.com/ocean/</a></li> <li>(一社)エナジーツーリズム推進協議会から依頼がありました。佐賀エナジーツーリズム事業に伴う一般企業(三菱UFJ銀行)による視察(令和7年1月24日、令和7年3月6日)を受け入れました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学開催後に、見学の様子を佐賀大学のSNSにて発信するように改善済み。</li> <li>・水素関連設備について、検討中。</li> <li>・伊万里市と連携し、市内の小中高生見学の受入を継続的に実施。(今年度は、伊万里市内の伊万里高校、敬徳高校、南波多郷学の他、長崎県大村高校、佐世保高専、八女工業高校の見学・研修等の受入を実施)</li> <li>・本年度、佐賀エナジーツーリズムについては都合がつかず見学受入実施なし</li> </ul>
13	教学マネジメント推進室 (教育企画課)	ステークホルダー(学生、保護者、自治体、企業、教職員など)との対話に基づくエンゲージメント構築	学生、保護者、自治体、企業、教職員など	交流会など	随時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見内容を教育現場にフィードバックして教育改善を推進します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会の期待に応える人材の輩出</li> <li>・学生一人ひとりが成長実感を得られる教育の実現</li> </ul>	【対応済み】ステークホルダーとの意見交換等で得た声を教学IRとして分析し、教育改善に反映するとともに、「そのサガ、見える」や教育改善サイトで可視化・公開し、情報発信を通して共感形成と教育の質向上につなげている。